

ぬまじ憲法9条の会

憲法改正の発議 困難に 改憲反対3分1以上

国民が裏金問題で、与党過半数割れに追い込む！

今回の衆院選で、憲法改正に前向きな自民党や公明党、日本維新の会、国民民主党の勢力が発議に必要な3分の2（310議席）を下回り、当面は憲法改定の発議は強行出来ないと思われま

それでも石破首相は衆院選から一夜明けた28日の記者会見で、改憲への意欲を口にしました。

憲法改正の発議

国会議員（衆議院1000人以上、参議院50人以上）の賛成により憲法改正案の

225号
2024年
11月1日発行
事務局
神田健夫
055-921-7755

護憲政党・議員
改憲発議 総議員の

2/3（310人）
1/3（155人）
改憲反対議員数：166人
改憲賛成議員数：281人

憲法改正 各党の公約

自民：賛成（191）
立憲：反対（148）
維新・賛成（38）
公明：賛成（24）
共産：反対（8）
国民：賛成（28）
社民：反対（1）

今後、自民党内の総裁辞任、新総裁選出に動くのか、また国民が与党へ参加するののか。立憲と国民民主や維新との連立政権誕生するののか、複雑な状況になる動きです。

お知らせ

映画「戦いくさむ雲」

日時 12月1日（日）
*受付開始13時15分
*上映開始13時45分
*会場 沼津市立図書館
視聴覚室 4階
*前売券大人1000円
当日券大人1200円
中学・高校生800円
主催 オリーブ・ジヤム

「標的の村」「沖繩スパイ戦史」の三上智恵監督が、沖繩など南西諸島の急速な軍事要塞化の現状と、島々の暮らしや祭りを描いたドキュメンタリー。

三上監督が2012年から8年間にわたり沖繩本島、与那国島、宮古島、石垣島、奄美大島などをめぐり取材を続け、迫り来る戦争の脅威に警鐘を鳴らすとともに、過酷な歴史と豊かな自然に育まれた島の人々のかけがえのない暮らしや祭りを鮮やかに映し出す。

前売券 神田
055-921-7755

日本を戦場にするな

「戦争させない 憲法壊すな 沼津の会」主催

日時11月10日（日）
13時30分
会場 沼津中央公園
集会・スタンディング

○敵基地攻撃能力の保有は、日本が「戦場」に
○9条改憲許さない
○イスラエルはガザでの「虐殺」をやめよ
○ロシアはウクライナ侵略をやめよ

雨天中止
土曜日・駅頭
スタンディング

場所・JR沼津駅南口
井上靖記念碑前
時間 13時30分〜14時15分 毎週土曜日
プラカードを持って立つても、腰掛けても参加出来ます。
雨天中止

あなたの思いを
行動に

許せない 許せない

すべてのブラック企業が合法化されるようになる!?

なんと政府の中で「労働基準法を無効化」しようとする動きがあり、現実味をおびています。緊急署名を立ち上げました!!

検事総長は無反省

袴田さんは再審無罪が確定したのに、畝本検事総長は談話で、袴田さんを無罪とした静岡地裁判決について、疑念や強い不満を「抱かざるを得ません」としたうえで「控訴して上級審の判断を仰ぐべき内容」と述べた。

袴田さんの弁護団は、最高検を訪れ、静岡地裁判決への不満を表明した畝本直美検事総長の談話の撤回を求めた。

しかし、牧原秀樹法相は同日の閣議後記者会見で袴

田さんに「大変申し訳ない」と述べながらも、総長談話が袴田さんを犯人視しているとの弁護団などの批判は「当たらない」として検察を擁護した。

女性差別撤廃 著しい遅れ

8年ぶり日本審議「議定書批准 次回までに」

スイス・ジュネーブの国連欧州本部で、女性差別撤廃委員会による女性差別撤廃条約の履行状況を確認する日本報告審議が行われ、「先進国の中での取り組みが著しく遅れている」と厳しい指摘が相次ぎました。同審議が行われるのは8年ぶりです。日本政府は、法改正や実態調査・公表を通じて状況改善に努めていると報告しました。

市民社会が求めている女性差別撤廃条約選択議定書の批准について政府は「注目のべき制度だ」としつつ「検討を続ける」と、従来

の答弁を繰り返しました。傍聴席から落胆の声が上がりました。

神道政治連盟(神政連) の推薦条件は「選択的夫婦別姓反対」

全国の神社を包括する神道政治連盟(神政連)が総選挙に立候補予定の国会議員らを推薦するのにあたって「選択的夫婦別姓」に反対することなどを約束する「公約書」の提出を求めていることが報道されました。

「公約書」によると、「推薦を受けるにあたり(中略)特に左記の諸点につき、貴連盟の活動方針に則り、積極的に協力することを公約致します」としています。八つの公約が列記され、「『女系天皇』につながるいわゆる『女性宮家』創設には反対」「憲法改正案の速やかな国会発議を強く働きかけます」「靖国神社への首相や閣僚による参拝」などとなっています。

ちよつと良いニュース

福井中3殺害、 再審開始決定

1986年に福井市で中学3年の女子生徒11当時(15)が殺害された事件で殺人罪が確定し服役した前川彰司さんの第2次再審請求審で、名古屋高裁金沢支部は23日、「捜査に行き詰まった捜査機関が誘導などの不当な働き掛けを行い、関係者の供述が形成された疑いが払拭できない」として、再審開始を認める決定をした。
*10月28日 検察側は異議を申し立てないと発表し、再審開始が確定しました。
名古屋高裁金沢支部

「家事労働」による女性 の過労死に労災支給

家政婦兼介護ヘルパーとして住み込みで働いた後に急死した女性の労災を認めなかったのは不当として、

遺族が国に処分取り消しを求めた訴訟で、東京高裁は労災にあたるとの判断を示した。遺族側の請求を退けた一審・東京地裁判決を取り消した。

原告側は記者会見し、女性を派遣した業者への損害賠償訴訟を検討していると明らかにするとともに家事労働を除外している労働基準法自体の改正への取り組みを強める考えを表明した。

旧優生保護法 補償法案が成立

旧優生保護法をめぐり、不妊手術を強制された被害者本人らに新たな補償を行うための法案は、超党派の議員連盟がまとめたものです。

- ▽不妊手術を強制された被害者本人に1500万円
- ▽配偶者に500万円
- ▽中絶手術を受けさせられた人に一時金の名目で200万円を支給するなど、新たな補償を行うことが盛り込まれています。